

# 開発 超低温向けメモリ積層

## アイディー

# 工場新設、9月めど投入 半導体メーカーに提案

【静岡】アイディー(静岡県沼津市、下田一喜社長、055・943・6371)は、次世代の3次元積層と期待されるシリコン積層電極(TSV)積層メモリ向けの超低温冷却循環装置(チラー)を開発した。9月をめどに本格的に発売する。約100度Cに冷却でき、冷却能力は4kW。価格は1800万円(消費税抜き)。半導体メーカーなどに提案し、2020年に月産10台の販売を見込む。21年稼働を目指し、本社第3工場(沼津市)を新設し、供給力を高める。



TSV積層メモリ向けの超低温チラー装置を半導体メーカーなどに提案

工夫を加えた。TSVは半導体を3次元積層して高性能化を図る技術。チップの表面と裏面を貫通する電極を作ることで、半導体LSIの高集積化を促す技術と期待されている。製造工程のうち、エッチング深掘りでは、より多層化した場合の高精度加工を実現するため、超低温での冷却が必要となっている。

開発した新型機の1号機を韓国の大宇半導体メーカーの日本人に納入した。チラーはアイディー独自の超低温技術である冷媒に蒸発温度の違う3種類のフロンを混ぜる。熱交換器内部で液化と気化を繰り返す構造を基本とし、さらに

ほフル操業状態にある。そのため隣接地に土地を購入し、建物面積約900平方メートル、ラー・フリーザーの組立工場を建設する考え。投資額は約3億円を見込む。

リズム時計工業は、2021年度を最終年度とする3力年の中期経営計画を策定した。最終年度に売上高が18年度比9.6%増の340億円、営業利益が同2.2倍の17億円を目指す。車載関連分野に積極的に投資するほ

キトーは工場用荷揚げ機(ホイスト)「キートロップホイストRY形」写真の北米での販売を開始した。これに伴い、米国のホ

リズム時計工業は、2021年度を最終年度とする3力年の中期経営計画を策定した。最終年度に売上高が18年度比9.6%増の340億円、営業利益が同2.2倍の17億円を目指す。車載関連分野に積極的に投資するほ

## 北米でホイスト

### 米・中子会社と

## 切削工具拠点20カ所増

### Cominix 日系の海外進出支援

Cominixは2022年3月期までに、切削工具製品の営業拠点を国内外で合計20カ所増やす。米中貿易摩擦の影響で世界経済の不透明感は強まるが、難削材加工などに貢献する工具販売は堅調に推移する。多様な製品を扱う工具専門商社の強みを生かし、海野、神戸に開設する予定だ。このほかにも22



Cominixは国内メーカー以外に、海外の有力工具メーカー、YGGIの製品を取り扱うなど製品群も充実させた。拠点を製品拡充をテ

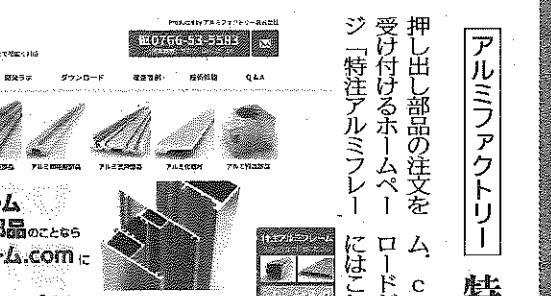
Cominixは国内メーカー以外に、海外の有力工具メーカー、YGGIの製品を取り扱うなど製品群も充実させた。拠点を製品拡充をテ

## 工作機械技術表

工作機械技術振興財団(鈴木直道代表理事)は、工作機械に関する優れた論文に対して贈る「第40次工作機械技術振興賞」に計25件を選んだ。論文賞が6件、奨励賞が8件、試験研究助成が8件で、創立40周年記念に新設した人材育成賞が3件(3人)。同財団は1979年に牧野フライス製作所の創業者である牧野常造氏の私財を基金に設立された。計1006件(2680人)・7億9480万円を助成した。贈賞式を17日に東海大学校友会館(東京都千代田区)で開く。第40次の対象者は次の通り。(敬称略)

アルミファクトリー(富山県射水市、棚元政夫社長、0766・56・1133)は、特注のアルミニウムフレームやアルミ押し出し成形品の加工事例と価格をまとめた「参考価格事例集」の公開を始めた。同社が実際に

## 公開 事例・価格



アルミファクトリー特注品サイトに詳細

押し出し部品の注文をム.comでダウン受け付けるホームページが可能。事例集「特注アルミフレーム」にはこれまで製造してきた成形品の説明、写真とともに、金型費や1ロット当たりの生産量、1枚当たりの価格の目安を掲載。成形品に切削加工を施した品も掲載して、

「論文賞」▽「画面研磨加工におけるウェハ厚さの抑制のための加工条件最適化」him foil tool ele